

ネオナイト工法を活用した水質浄化普及・実証事業

株式会社ネオナイト(島根県)

ペルー国の開発ニーズ

リマ首都圏への低所得者層の人口流入と居住域拡大が続いており、上下水道等の生活基礎インフラの整備が急務となっている。排水処理改善はペルーにおける優先課題の一つとなっている。

- 生活雑排水の流入が増加している。都圏の人口増加に伴い排水量が増加し、既存の下水処理場の処理能力は限界に達している。
- 排水処理が困難な小規模工場が多数存在している。現地適正に基づく排水処理の技術・機材の導入及び技術者の育成が求められている。

普及・実証事業の内容

実証

SEDAPAL、SNIとの合意に基づき、ネオナイトプラントの設置・保管場所としてネオナイト工法の産業排水に対する有効性の実証活動へ協力するモデル企業4社(繊維・印刷・食品加工・染色業界を想定)を決定する。ネオナイト浄化剤の使用による既存下水処分場に対する負荷軽減の効果・有効性について、SEDAPALへ共有・報告を行うなど。

普及

SEDAPAL職員、SNI及びSNIに加盟する中小企業(モデル企業を含む)の技術者に対して、ネオナイトプラントを活用した実習と排水処理技術に関する理論からなる講習を実施し、排水処理技術者を育成するなど。

提案企業の技術・製品



移動式排水処理プラント例



粉末剤

国内販売用パッケージ

凝集の様子

<製品・技術名>

水処理装置:ネオナイトプラント
(ネオナイト浄化剤及び中和、濾過に関する機材一式)

<事業概要>

- ・相手国実施機関:SEDAPAL(リマ上下水道公社)
- ・事業期間:2016年10月-2018年5月
- ・事業サイト:現地企業4社(繊維・印刷・食品加工・染色業界を想定)

ペルー国側に見込まれる成果

実証

1. ネオナイト工法による汚染水処理技術の有効性が確認される。
2. SEDAPAL、SNI及びSNI会員企業に対して、ネオナイト工法の有効性、導入方法及び維持管理方法に関する技術指導が成される。

普及

1. SEDAPAL、SNI及びSNI会員企業等の技術者、リマ市内の事業者によって、ネオナイト工法の有効性が理解される。
2. リマ近郊の行政担当者、民間事業者によって、ネオナイト工法を採用した排水処理技術の有効性が理解される。

日本企業側の成果

- ネオナイト工法(ネオナイト浄化剤とネオナイトプラントによる汚水浄化技術)による排水・汚水処理技術の有効性が確認される。
- SEDAPAL及びペルー工業会(SNI)に対して、ネオナイト工法の有効性、導入方法及び維持管理方法に関する技術指導が成される。
- SEDAPAL、SNI及びSNI会員企業等の技術者、リマ市内の事業者、リマ近郊の行政担当者、民間事業者にネオナイト工法を採用した排水処理技術の有効性が理解される。
- 上記により、ペルーにてネオナイト工法を普及させ、ネオナイト工法の市場を開拓するための素地が整う。